



京まなびい Newsletter ニュースレター

京都府教育委員会事務局生涯学習部

芸術の秋！京都市立芸術大学へ行ってみよう！

令和5年秋、西京区から京都駅東側へキャンパスが移転した京都市立芸術大学。大学のコンセプトは「テラスのようにまちに開かれた大学」。地域の歴史や文化と緩やかにつながることを目指しています。イベントも盛りだくさんなので、この校舎マップを手に訪れてみてはいかがでしょうか。



「京都市立芸術大学」とは？

明治13年に日本初の公立の絵画専門学校として開設された「京都府画学校」を起源とする日本で最も長い歴史を持つ芸術系大学。美術と音楽を両軸とし、多様な人々が往来できる芸術文化創造の新たな拠点となることを目指しています。



こだわりの建築は
見どころいっぱい！

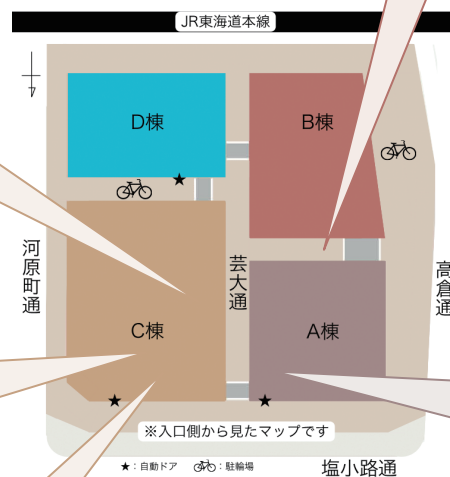
C棟 伊藤記念図書館 (附属図書館)

大学移転に際し、寄付をされた伊藤謙介氏の名前を冠した図書館で、京都市内在住又は通勤の方にも、広く開放。蔵書は、美術工芸、デザイン、建築、写真、音楽に関する書籍や資料など、約14万冊にも及びます。



B棟 笠原記念アンサンブルホールへ続く階段の外壁 「歌う天使たち」石膏像

スペインのバルセロナにある世界遺産「サグラダ・ファミリア」。「生誕の門」に約10年間設置されていた石膏像9体が、現地で彫刻家として活躍する卒業生の外尾悦郎氏から寄贈され、常設展示されています。



C棟 1F 芸術資料館

京都府画学校以来の140年を超える歴史を受け継ぎ、学生の卒業作品と美術工芸に関する参考資料を収蔵。

★企画展示
第3期 京都銀行 京都市立芸術大学コレクション
—美術研究支援制度25周年記念展—
(9月20日(土)～11月24日(月・祝))



C棟 1F ギャラリー@KCUA (アクア)

学芸スタッフの企画による「特別展」、教員・在学生・卒業生を対象とした企画公募による「申請展」などの展覧会を開催しているほか、ワークショップやレクチャー、アートプロジェクトなど、多岐にわたる活動を実施しています。



A棟 3F 堀場信吉記念ホール



音楽学部の前身である京都市立音楽短期大学の初代学長、堀場信吉氏の名を冠したホールは約800席あり、音の響きを計算しつつデザインされています。

★オータムウインズフェスト
(11月12日(水)開催)
今年も開催決定！音楽学部管・打楽専攻の学生が、各楽器のアンサンブルや吹奏楽の演奏をお届けします。
木管楽器、金管楽器、打楽器それぞれの魅力的なサウンドを是非ご体感ください。

河原町通をはさんで東側には、大学食堂や柳原銀行記念資料館、京都市立美術工芸高等学校があります。

各施設の開館日時等の詳細は、京都市立芸術大学HP (<https://www.kcuu.ac.jp/>) でご確認ください
HPはこちら→
[アクセス]
地下鉄・JR・近鉄京都駅下車徒歩6分、市バス堀小路高倉・京都市立芸術大学前下車すぐ



授業の様子 をご紹介します

京都市立美術工芸高等学校「伝統文化に親しむ日」

京都市立芸術大学に隣接する京都市立美術工芸高等学校において、「伝統文化に親しむ日」の取組として、京都市社会教育委員である榎木良子氏を講師に迎え、1年生を対象に浴衣の着付け体験の授業が行われました。

授業は、着物の名称や男女それぞれの着方等の説明から、生徒たちが実際に好きな浴衣を自分で着てみるという体験型で実施。榎木氏や補助役の大学生からのアドバイスをを受けつつ、お互いに教え合っ浴衣姿になった生徒たちは、新鮮そうにたくさん写真を撮っていました。



(授業風景)
浴衣を着ると生徒の所作も自然と上品に。



講師の榎木氏にインタビュー

Q 着付け体験の授業で、生徒さんに伝えたいことは何ですか？

A まず、着てみることで、着物の存在を身近に感じてもらいたいです。着物を知っている子がお友だちに着方を教えてあげて自信につながったり、浴衣を着られたから次は着物が着たくなったり、いろいろな感じてもらうことが大切だと思っています。「日本の文化は素晴らしい。」「姿勢が良くなり所作が綺麗になった。」「ものを丁寧に扱おうと思った。」という感想をもらったこともあります。

同時に、着物の作り手のことにも目を向けられるようになってくれるとうれしいです。感受性を豊かにして、絵画や陶芸等の作り手側になる生徒さんたちに知ってもらうことには、意義があると思います。



京都市社会教育委員
榎木 良子氏
(同志社大学 国際教養教育院 嘱託講師)
プロフィール
京都市生まれ、美術工芸高校の前身である銅駝美術工芸高校染織科卒業。平成29年から京都市社会教育委員を務める。女優・モデルとしてメディアで多数活躍。女優引退後は着物文化を「伝える」フィールドへ軸を移し同志社大学で教鞭を執る。各地で講演等に登場。著書に「和のふるまい言葉事典」。

Q 20年以上、授業を続けてこられて、印象に残っていることはありますか？

A 着物を着て美工作品展を見に行ったら、保護者の方に「着物の先生ですよね！」と声をかけていただき、お子さんが学校で浴衣を着てとても喜んでいたこと、お母様やお祖母様の着物や帯に興味を持ったことなどを教えてくださいました。

若いうちに着物の良さを知ると、大人になって何かにつながるかもしれません。

体験をきっかけに、友禅の会社に入った卒業生もいます。若い生徒さんの可能性が広がることはうれしいですね。

浴衣を着て楽しかったという思い出が、また着物を着たいという気持ちにつながると思います。



京都市が誇る！芸術を専門に学べる京都市立高等学校のご紹介

京都市立美術工芸高等学校

京都市立芸術大学と同じく、「京都府画学校」がルーツの全国でも数少ない美術工芸専門の高校。日本画、洋画、彫刻、漆芸、陶芸、染織、デザイン、ファッションアートの8つの専攻からなり、鴨川河畔の素晴らしい環境で日々学びを深めています。



HPはこちら→

★第46回美工作品展 入場無料

10月1日(水)～5日(日)
場所：京都市京セラ美術館

3年生が授業で制作した作品約320点が所狭しと展示されます。若さ溢れる感性豊かな力作を是非ご観覧ください。



京都市立京都堀川音楽高等学校

日本唯一の音楽科単独の公立高等学校として、世界で活躍する音楽家を数多く輩出。国内最高水準の音響を誇るホールやレッスン室等を有する学び舎で、生徒一人ひとりの音楽への志を大切に、夢の実現をサポートしています。



HPはこちら→

★第19回京都市域異音楽フェスティバル 入場無料

10月25日(土) 13時～ 場所：京都堀川音楽高等学校音楽ホール

地元の城巽学区の皆さんと一緒に創り上げる音楽祭です。生徒によるオーケストラ・合唱をはじめ、PTA音友会コーラス、学校を拠点に活動する京都市少年合唱団や京都子どもの音楽教室等が出演予定。お気軽にご来場ください。



京都市生涯学習情報検索システム「京まなびネット」(<https://miyakomanabi.jp/>)

京まなびネットでは、京都市内で開催されるイベントや講座の情報を多数掲載しています！自分にあったイベントや講座等を見つけ、新たな学びを始めてみませんか？

みやこ「京まなびいニュースレター」についての問合せ先

京都市教育委員会事務局 生涯学習部 生涯学習推進担当
京都市中京区富小路通六角下る骨屋之町549 (元生祥小学校)
TEL: 075-251-0410 FAX: 075-213-4650 メールアドレス: shogaigaku@edu.city.kyoto.jp



トップページの
バナー広告も
随時募集中！
←HPはこちら

紙面への感想をメールや
FAXでお寄せください。